

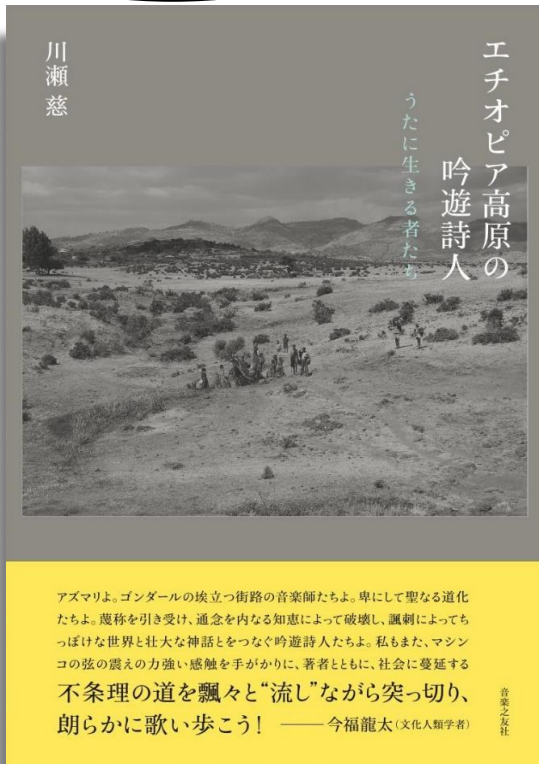
アズマリよ。ゴンダールの埃立つ街路の音楽師たちよ。卑にして聖なる道化たちよ。蔑称を引き受け、通念を内なる知恵によって破壊し、諷刺によってちっぽけな世界と壮大な神話とをつなぐ吟遊詩人たちよ。私もまた、マシンの弦の震えの力強い感触を手がかりに、著者ととともに、社会に蔓延する不条理の道を飄々と“流し”ながら突っ切り、朗らかに歌い歩こう！——今福龍太（文化人類学者）

# エチオピア高原の吟遊詩人

## うたに生きる者たち

川瀬 慈 著

10月の新刊



### 吟遊詩人たちのリアルな息づかい

弦楽器マシコを弾き語るアズマリ、門付(かどづけ)を行うラリベラ。人々との豊かなやりとりのなかで芸能をしたたかに展開させる吟遊詩人たちの活動と生きざまに迫る。

王侯貴族のお抱え楽師、戦場で兵士を鼓舞する係、為政者を揶揄する道化、権力に抗うレジスタンス、祝祭を盛り上げるコメディアン、庶民の代弁者、生のはかなさを説く語り部、門付(かどづけ)芸能者……歴史的に担ってきた多様な役割と、現代を生きる職能者のアーティストへの転身、世界的な活躍までを追う。うたに生きる彼ら、彼女たちの素顔は、音楽、芸能について、アフリカの地平から相対化してとらえ、考えることを促す。

#### 著者紹介

#### 川瀬慈(かわせいつし)

1977年、岐阜県生まれ。京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程修了。国立民族学博物館／総合研究大学院大学准教授。専門は映像人類学。人類学、シネマ、アート、文学の交点から創造的な叙述と語りの地平を探索する。主な著作に『ストリートの精霊たち』(世界思想社、2018年、第6回鉄犬ヘテロトピア文学賞受賞)、『あふりこ——フィクションの重奏／遍在するアフリカ』(編著、新曜社、2019年)。代表的な映像作品に『僕らの時代は』『精霊の馬』『Room 11, Ethiopia Hotel』(イタリア・サルデーニャ国際民族誌映画祭にて「最も革新的な映画賞」受賞)。http://www.itsushikawase.com/japanese/

#### 目次

- 序
- 1 チュンブルなやつら
- 2 古都ゴンダール、王女が眺めた場所
- 3 生きつづける神話、楽器マシコ
- 4 権力への従属と抵抗、メディアとしての芸能者
- 5 祝祭儀礼とアズマリ
- 6 精霊との会話の仲介
- 7 農作業とアズマリ
- 8 ほめ歌
- 9 蠟と金、イメージの世界への潜行
- 10 秘密の言葉の秘密
- 11 故郷とのつながり
- 12 タガブとイタイア
- 13 ひろがるアズマリ・ネットワーク——メケレにて
- 14 ワシントンDCのアニキ
- 15 アズマリベットの栄枯盛衰
- 16 外側から揺り動かされるエチオピア音楽
- 17 職能者からアーティストへ
- 18 高原の吟遊詩人ラリベラ
- 19 様々な呼称
- 20 シュカッチ伝説
- 21 ラリベロッチ——終わりなき祝福を生きる
- 22 映像へのリアクション
- 23 さあ私もあなたも生き延びよう

※10月29日頃より、全国の書店にて順次販売開始いたします。  
※ご予約・ご注文は、下記の用紙を切り取り書店・楽器店にお持ちください。またはネット書店でもご予約・ご購入いただけます。

(店名・帳合)	(注文)	年 月 日
		<b>エチオピア高原の吟遊詩人 うたに生きる者たち</b> <b>川瀬 慈 著</b>
		四六判・仮フランス装・248頁+口絵4頁 定価(本体3,000円+税) ISBN978-4-276-13571-0
		ご住所 〒
冊		お名前
		お電話番号